

# 東日本大震災・原子力災害伝承館 館内語り部講話スケジュール

8月	午前 ①10:00～ ②11:15～	午後 ③13:15～ ④14:30～
1 金	福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です)	長い避難生活を支えた励ましの数々 (富岡町)
2 土	震災・避難・現在の歩み (富岡町)	当時11歳ととしての東日本大震災 (富岡町)
3 日	震災・原発事故を語る (双葉町)	自分の命を守る (いわき市)
4 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、 相馬の実家、そして大切な家族」 (相馬市)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市)
5 火	休 館 日	
6 水	震災経験とその後の活動 (南相馬市)	復興を支える 人の繋がり (富岡町)
7 木	生きのびるために (双葉町)	東日本大震災一あの日から14年が過ぎて (南相馬市)
8 金	あの日の震災から学んだこと (富岡町)	役場職員 震災直後の7日間 (浪江町)
9 土	震災・原発事故を語る (双葉町) 【研】	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！ (南相馬市) 【研】
10 日	原発事故が学校にもたらしたもの (南相馬市)	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～ (南相馬市)
11 月	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)	震災当日の行動と教訓及び復興事業について (いわき市)
12 火	震災と私 ～その時、私の周りで起きたこと～ (双葉町)	福島第一原発事故における病院避難について (東京都※本人の被災体験ではなく聞き取りした内容です)
13 水	東日本大震災と避難生活の実態 (浪江町)	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)
14 木	生きのびるために (双葉町)	双葉の子どもたち (双葉町)
15 金	東日本大震災から考える防災と社会課題 (大熊町)	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
16 土	変わりゆくふるさと それでも前を向いて(双葉町)	あの日から13年間の久之浜町 そしてこれからは… (いわき市)
17 日	震災経験とその後の活動 (南相馬市)	東日本大震災 娘との日々 (富岡町)
18 月	伝統文化存続の危機と伝承 (双葉町)	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)
19 火	休 館 日	
20 水	『残照』～震災の記憶～ (相馬市)	復興を支える 人の繋がり (富岡町)
21 木	防災意識を高めよう。みんなと、自分を！ (南相馬市)	東日本大震災一あの日から14年が過ぎて (南相馬市)
22 金	役場職員 震災直後の7日間 (浪江町)	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
23 土	震災・原発事故を語る (双葉町)	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～ (南相馬市)
24 日	紙芝居『菜の花物語』 (南相馬市)	ふるさとで暮らす (大熊町)
25 月	私の震災体験とそれから「仙台港での大津波、多賀城の職場、 相馬の実家、そして大切な家族」 (相馬市)	原発事故が学校にもたらしたもの (南相馬市)
26 火	休 館 日	
27 水	置き去りにされた動物 (浪江町)	東日本大震災原発事故により避難した体験を ダンボールアートを通して語り伝える (富岡町)
28 木	10:00～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 11:15～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町)	13:15～ 震災後の2日間とその後 (大熊町) 14:30～ 震災・原発事故から復興へ (大熊町)
29 金	震災時の体験と伝えたいこと (大熊町)	「当たり前」はない (大熊町)
30 土	震災経験とその後の活動 (南相馬市)	原発から25キロに住む1人として (南相馬市)
31 日	あの日を 忘れない それが備えの第一歩 ～震災の経験から伝えたいこと～ (南相馬市)	東日本大震災 娘との日々 (富岡町)

※タイトル横の ( ) 内は語り部の震災当時の居住地です。

※8/9(土)～14(木)はお盆期間であるため「研修室」を会場とし、座席数を増やして開催いたします。(上記【研】がある日)

※スケジュールは2025/7/25現在のものです。

やむを得ない事情により、変更・中止、講話映像の上映となることがあります。